

令和5年度 林業普及週間現地情報 (2/26~3/1)

森林管理課

石垣島産材の地域外移出にかかる調整

2月28日(水)

令和6年2月28日(水)、沖縄本島への石垣島産材の移出に向け、キンモク(沖縄本島の製材事業者)及び佐藤林業(島内林業事業者)と個別調整を行った。

沖縄本島では県産材の需要に対し供給が不足している状態が続いており、今後更に不足していくことが予測される。また八重山においては伐期を迎えたリュウキュウマツの利活用が求められており、地域内需要の創出のほか、地域外移出を模索していたため、沖縄本島への移出に向けた調整を進めることとなった。

調整に先立って、八重山の森林資源の概要を把握して頂くために、白保・平得県営林及び石垣市有林の視察を行った。

平得県営林では、県、キンモク、佐藤林業の三者で実際の払い下げ候補地を視察しながら、今後の方向性について調整を行った。

地域外への移出については輸送コストや搬出・搬入方法等の課題はあるが、伐期を迎えた八重山の森林資源の利活用に向け、引き続き調整を進めていく。



県営林及び市有林の視察の様子

(報告者：八重山農林水産振興センター 小菅、金城)